

# ながはま見聞録

## Nagahama Hotnews

このコーナーは、長浜の見どころ、市民の皆さんの活動の様子やまちで見かけたほっとな話題を紹介し、あなたが知っている旬の話題などがあれば、政策デザイン課(☎65-6504)までお知らせください。

2月10日(水)～3月10日(水)

### 色鮮やかな雛人形を巡る街歩き

観光客や市民に楽しんでもらおうと、中心市街地周辺で「第13回長浜のお雛さまめぐり」が開催されました。

3月3日の「桃の節句」を前に、黒壁スクエア一帯の商店や民家、観光施設など70か所で、代々伝わる雛人形や雛道具を展示。

江戸・明治・大正・昭和それぞれのお雛さまも飾られており、訪れた人たちは貴重な展示をじっくりと眺め、その歴史や時代の背景を楽しんでいました。



2月12日(金)～4月18日(日)

### 鮮やかに咲き誇る

大通寺で4月18日(日)まで、「第33回大通寺馬酔木展」が開催されています。

全国的に珍しいとされている馬酔木の展覧会。ピンクや白の愛らしい花が盆栽風に仕上げられ、70鉢が展示されました。今年は広間内にも陳列され、切り絵作家・早川鉄兵さんが宗祖親鸞聖人750回御遠忌法要の記念事業で作成した障子アートなどと合わせて見る馬酔木も新鮮な美しさでした。



2月19日(金)

### びわ湖を守る活動が知事賞を受賞

速水小学校6年生が10月に実施した親子活動が、この度「びわこルールキッズ2020」活動の滋賀県知事賞を受賞しました。

びわ湖の在来種を守ることを目的とし、当日は多くのブラックバスやブルーギルといった外来魚を釣り上げ、外来魚による自然への影響などを学びました。参加を呼び掛けた保護者会からは親子での活動で、びわ湖を守る学習が深められたと喜びを語っていました。



2月22日(月)～28日(日)

### 湖北随一の書展に力作揃う

西浅井運動広場体育館で「奥びわ湖書き初め展覧会」が開催され、小中学生370点、高校生38点、一般207点、そして無鑑査作品17点と審査員作品2点の合計634点が出品されました。

書体や題字はもちろん、筆勢があるダイナミックなものや、独特の濃淡やにじみを活かしたものなど、作品が表す「美」も様々。観覧に訪れた人々は、奥深い書の世界を堪能していました。



### 長浜市公式 SNS

- 長浜の催しや風景など、自慢の一枚をInstagramに投稿してください。長浜市公式Instagramアカウント「#みんなのちょびっく」で紹介し、詳しくは市ホームページをご覧ください。
- 見聞録のイベントは市公式 Facebook ページでもさらに詳しくみることができます。



▲市ホームページ



▲ほっとにゆ〜す

2月26日(金)

### 安全で円滑な接種に向けて訓練

新型コロナウイルスワクチンの集団接種の運営訓練が、ながはまウェルセンターで実施され、湖北医師会の医師や市職員、健康推進員などが参加し、実際の作業の流れを確認しました。

接種に要する時間については、ほぼ予定どおりの結果が得られたほか、いくつかの改善点も確認されました。市担当者は、「医師や看護師との連携、伝達を緊密にし、円滑で安全に接種を受けてもらえるよう体制を整えます」と話しました。



2月28日(日)

### 注目の技術「ゲノム編集」とは

長浜バイオ大学で、ゲノム編集研究所の開所記念講演会が開催されました。

「ゲノム編集技術ってなに？なにができるの？～その現状とこれから～」と題して、動物、植物、水生生物の各分野で活躍する研究者らが講演し、注目の最新技術を説明しました。

聴講に訪れた人は、熱心に話を聞いて、質問するなど、ゲノム編集の可能性について理解を深めました。

3月6日(土)～27日(土)

### 医療従事者へ向けた感謝の光

色とりどりの光で夜を照らす「六荘プチイルミ2021」が六荘まちづくりセンター周辺で開催されました。

長浜新川を挟んで立地する市長長浜病院に向け、医療従事者への感謝と、コロナ禍で様々な困難に立ち向かう人への応援の気持ちを込めて設置されました。光のトンネルやツリーなどカラフルにライトアップされ、河川敷には「ありがとう」の文字が浮かび上がりました。



3月7日(日)

### みらいの学び場がスタート

さざなみタウンで、「スーパー中学生プロジェクト」のキックオフイベントが開催されました。

このプロジェクトは、一般社団法人みらいの学び研究所が長浜の未来を担う子どもたちに、今後社会で求められる力を身につけてもらうための学びの場を提供するものです。

参加した中学生は、プログラミングなどの課題に積極的に取り組んでいました。